

M43D

Pediatric Lumbar Puncture Simulator II
小児腰椎穿刺シミュレータ
小児ルンバール II

注：モデル表面に取扱説明書や印刷物などが直接触れないようにして下さい。
樹脂表面にインクが吸収され消えなくなります。

取扱説明書

目 次



監修・指導：

国際医療福祉大学 教授
医学教育研修センター長 天野隆弘

- はじめに
ご使用上の注意 P.1
- ご使用の前に
セット内容 P.2
- 実習の準備 P.3～P.5
- 実習
実習中の注意事項 P.5～P.6
 - ① 新生児への腰椎穿刺時の体位保持の実習
 - ② 腰椎穿刺場所の触診実習
 - ③ 消毒手順と局部麻酔手順の確認
 - ④ 腰椎穿刺と髄液の確認
 - ⑤ 髄圧測定の実習
- 後片付け P.7～P.9

はじめに

● はじめに

● 小児ルンバールの特長

研修医や専門医が習得すべき検査手技の一つである小児腰椎穿刺技術の習得に向け、繰り返しのトレーニングで上達を目指すモデルです。実際の小児の体位保持から、髄液採取・髄圧測定までの手技の手順を学習できます。

● 実習内容

- ①新生児への腰椎穿刺時の体位保持
- ②腰椎穿刺場所の触診
- ③消毒手順と局部麻酔手順の確認
- ④腰椎穿刺と髄液採取
- ⑤髄圧測定

● 必ずお読みください

- ・本製品は、医学練習を目的として製作されたモデルです。
本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また、説明書に記載された方法以外でのご使用による万が一の破損や事故の場合、当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。
- ・実習にあたり本取扱説明書を必ずお読みになってからご使用ください。必要以上の力を加えたり、落下させたりしますと破損等の原因となりますのでご注意ください。
- ・ご使用の際に不具合等がございましたら、お手数ですがお買い求めの販売店もしくは株式会社京都科学までご連絡ください。

⚠ 注意

● 取り扱いにご注意ください。

特殊軟質樹脂を使用していますので、落下や強い衝撃を与えると破損の原因となります。また皮膚部の脱着の際、無理な負荷がかかりますと破損しますので十分ご注意ください。

● 中性洗剤又はアルコールで拭き取ってください。

モデルの汚れは水又は中性洗剤で、汚れが落ちにくい場合はアルコールで拭き、ベビーパウダーを塗布しておいてください。シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。

● 印刷物をモデル表面におかないでください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

● ボールペンやサインペンで書き込まないでください。

サインペン、ボールペンなどでモデルに書き込むと、インクが吸収されて消えなくなります。

● 高温多湿を避けて保管してください。

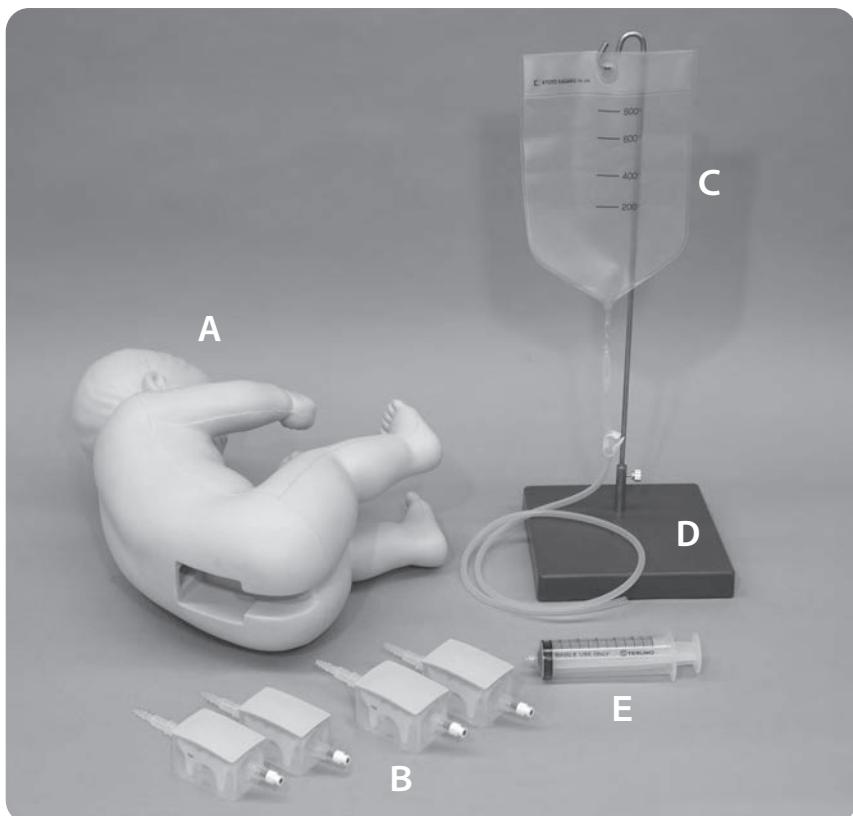
使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。
変形や故障の原因となります。

● 表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化で変色することがあります、ご使用には差し支えありません。

セット内容と各部の名称

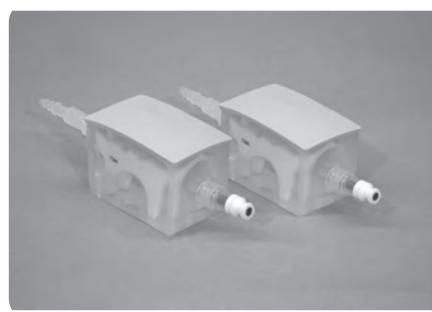
ご使用の前に、構成品が全てそろっているかご確認ください。



- A モデル本体** 1体
(7-10カ月)
- B 穿刺パッド** 2種
各2点
(2種:深さ12mm・17mm)
- C 貯水袋** 1点
- D スタンド** 1点
- E シリンジ** 1点

消耗品
一覧

11348-410

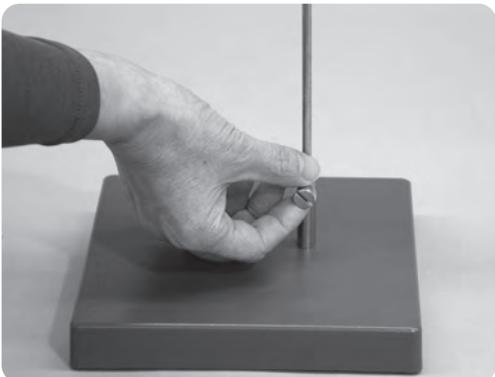


11348-420

コード番号	部品名
11348-410	腰椎穿刺パッド (2個組) 皮膚よりクモ膜下腔までの深さ 12mm タイプ
11348-420	腰椎穿刺パッド (2個組) 皮膚よりクモ膜下腔までの深さ 17mm タイプ

1 スタンドと貯水袋のセット

1. スタンドを組み立てます。
ベース台にポールをさし、ビスで固定します。

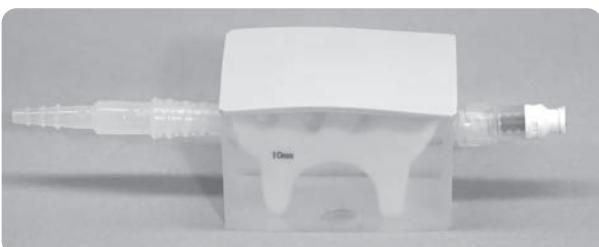


2. 貯水袋をスタンドにセットします。
※貯水袋の一方の穴をフックにきっかけます。



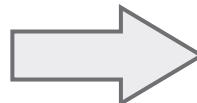
2 貯水袋とパッドの接続

3. 穿刺パッドは皮膚よりクモ膜下腔までの深さが2種類あります。パッドの側面に深さが表示されていますので、トレーニングに使用するパッドを選んで準備を進めます。



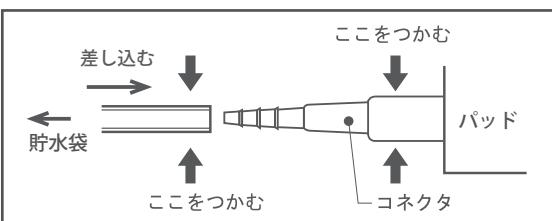
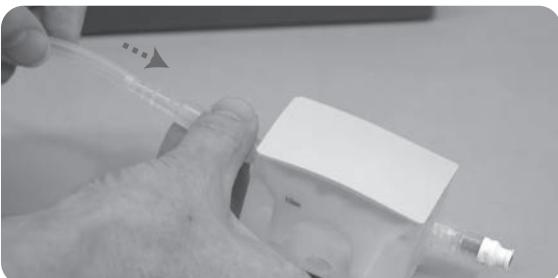
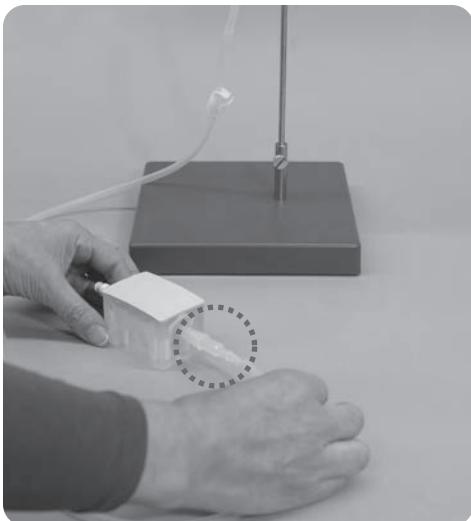
貯水袋へのコネクター

注水シリンジへのコネクター



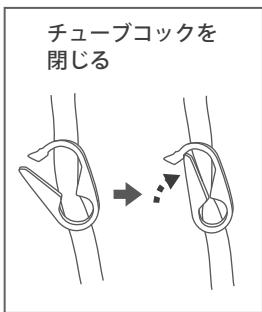
こちらがモデルの頭側に来るよう
セットします。

4. 貯水袋のチューブの先端を、穿刺パッドの頭側のコネクターにつなぎます。チューブの先端が、コネクター側のズレ止め突起を覆うように、しっかりと差し込んでください。



3 貯水袋に水を挿入

1. 貯水袋に水を注入する前にチューブコックを閉じてください。

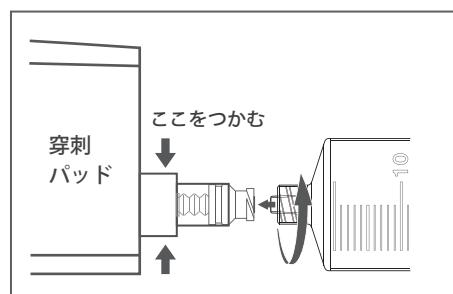
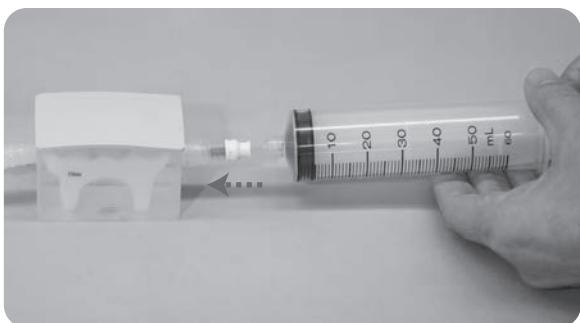


2. 貯水袋に水を注入してください。水を注入後、フックにかかっていない貯水袋のもう一方の穴もフックに引っかけます。

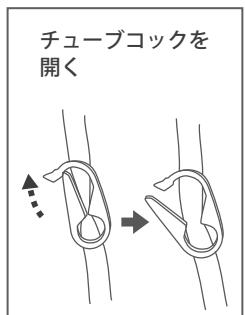


4 穿刺パッド内への水の注入

1. 貯水袋と反対側のコネクターに、シリングの先端をつなぎます。シリングを時計回りに回すとロックされます。

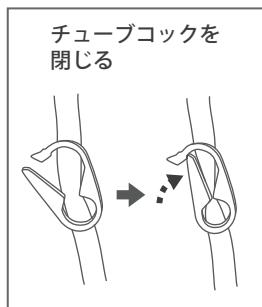


2. 貯水袋のチューブコックを開きます。次にシリング内に水を引けるまで内筒をゆっくり引きます。気泡がパッドやチューブ内に残らないよう、空気が残っていれば、傾けて内筒を引いてください。パッド内に水が満たされたら、シリングを反時計方向に回してシリングをはずします。

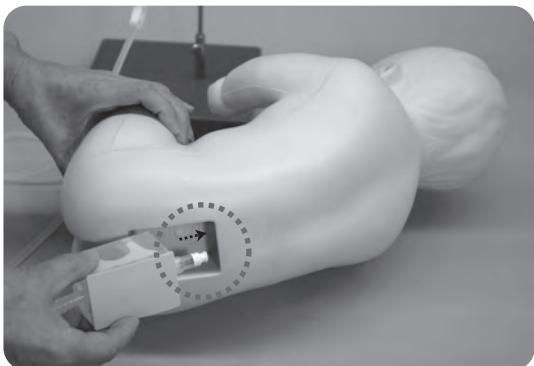


5 パッドをモデル本体に挿入

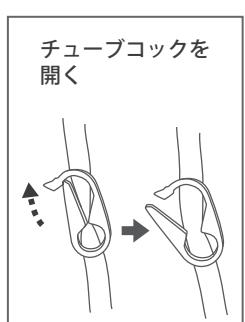
- チューブコックを閉じます。パッドをより長持ちさせるため、穿刺実習中以外はできるだけチューブコックを閉じておいてください。



- 水を充たしたパッドを、向きを合わせてモデル本体にセットします。シリンジをつないだ側のコネクターをモデル本体のパッドを納める穴の上部に差し込み穴が開いているので、その中に挿入するようにパッドをはめ込みます。



- パッドをモデル本体にセット後、チューブコックを開くと準備完了です。



※座位で髓圧測定の実習をする場合は、貯水袋の高さを調整してください。

1 新生児への腰椎穿刺時の体位保持の実習

- ・腰椎穿刺の成否を決める重要な要素である小児の体位の保持（身体の固定）を実習することができます。
- ・新生児の場合は側頭を適切な枕で支持し、両大腿部と肩を抱き込むようにし、背中部を突き出すようにおさえます。

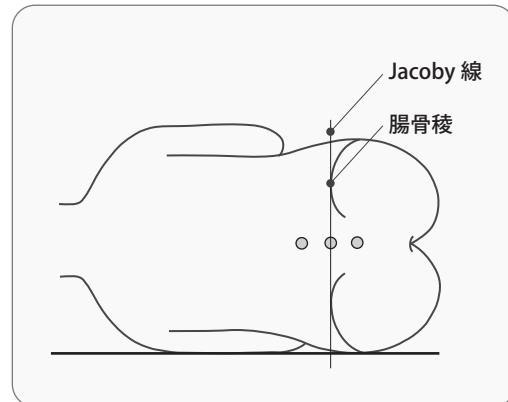
※小児腰椎穿刺を行う場合は、実際には患者の安心確保が重要な要素となります。

患者が安心できるための保護者の位置や、患者が落ち着ける五感への配慮が重要となります。



2 腰椎穿刺場所の触診実習

Jacoby線（両側腸骨稜上縁を結ぶ線）の確認と穿刺部位の刺突起の触診が可能で、実際の手技時と同じ手順で刺入点を決める実習ができます。



3 消毒手順と局部麻酔手順の確認

消毒液の選定から、必要な消毒範囲・消毒の手順、回数、滅菌ドレープのかぶせ方を学習します。

消毒後は局部麻酔について穿刺位置や手順を学習します。

※このモデルでは、実際に消毒や局部麻酔注射は行わないで下さい。

4 新生児への腰椎穿刺時の体位保持の実習

- ・小児の場合は22～24Gで短めの腰椎穿刺針を用いて穿刺を行います。小児ルンバールの穿刺部位は、人体に近い構造と穿刺時の刺入感を備えており、感触を確かめながら穿刺実習が可能です。
- ・透明の穿刺パッド部や穿刺部皮膚は着脱が可能で、腰椎穿刺の実習時に皮膚の一部をはずすと、穿刺針の刺入状況の確認も可能です。
- ・ルンバール針では手技が成功の場合は、スパイナル針からスタイルット(マンドリン)を引き抜くと模擬髄液の流出が確認できます。直針を使用の場合は手技が成功すると髄液の流出が確認できます。



5 髄圧測定の実習

人体と同様の圧力で模擬髄液を採取でき、マノメータによる髄圧測定も可能です。



後片付け

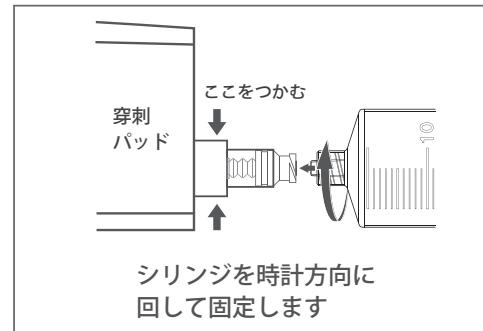
後片付け

1 実習後の後片付け

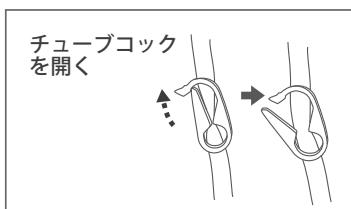
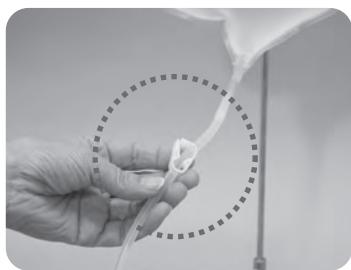
- まず、本体からパッドを取り出します。パッドを取り出すときは、お尻側のほうからパッドを持ち上げるようにしてパッドを取り出してください。



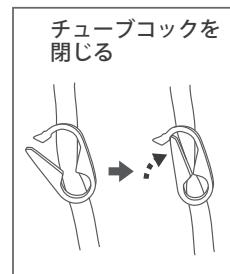
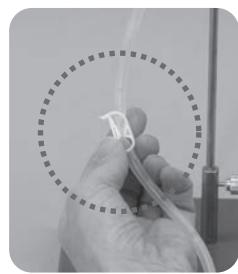
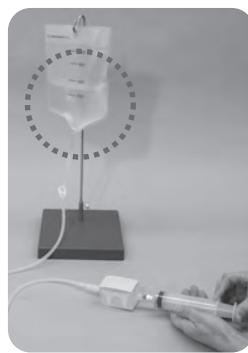
- シリングの内筒を引いた状態にしてから、パッドのコネクターにシリングを時計回りに回転させシリングを取り付けます。



- 貯水袋のチューブコックを開いてください。



- ゆっくりシリングの内筒を押し空気を送り、パッド内の水を押し出します。このとき、貯水袋へ空気が送り込まれるのを確認してください。確認後チューブコックを閉じます。

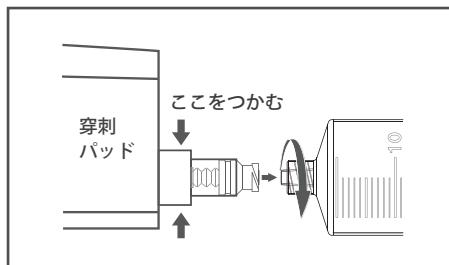
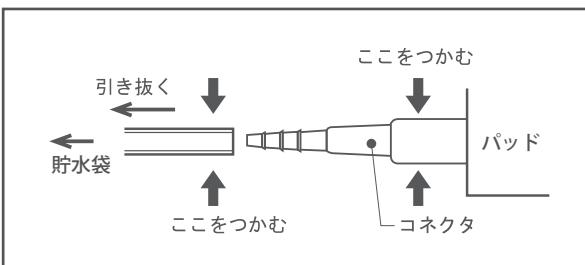
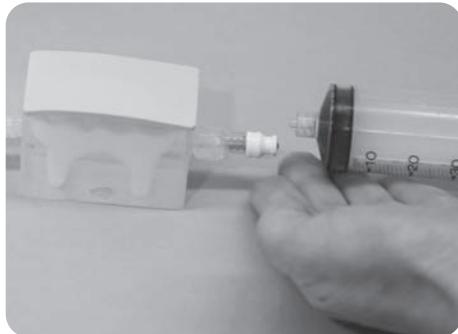
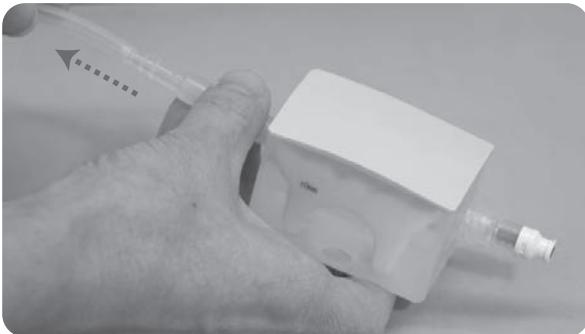


後片付け

後片付け

1 実習後の後片付け

5. 実習を終了し保管する場合は、パッドから貯水袋のチューブを外し、シリンジをひいてパッド内の水を十分に取り除いてから、シリンジを反時計方向に回転させ、パッドからはずします。



注意

実習中にパッドを交換が必要な場合は、古いパッドから貯水袋のチューブをはずした後、新しいパッドをつなぎ、交換後は「実習の準備」の手順を参照して実習を行ってください。

6. 最後に貯水袋やチューブ内の水を除去して、十分に乾燥させてから保管してください。





モデル表面に印刷物などが直接触れないようにして下さい。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

本製品についてのお問い合わせや不具合等ございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店、もしくは下記（株）京都科学まで御連絡ください。

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。本書の内容の一部もしくは全部を当社に無断で複写・転載することを禁じます。
本書の内容に、万一不審な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、当社もしくは販売店にご連絡ください。



URL ● <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail ● rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL:075-605-2510(直通)
FAX:075-605-2519

■東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL:03-3817-8071(直通)
FAX:03-3817-8075